

DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす

HAYASHI SYUNJI

林俊治

(株)林塗装工業所(彩北地区会)



埼玉の元気を創る中小企業家 - 118

【経営理念】

- 世界を**色**で魅了する
- 塗装で価値と魅力を創造する
- 伝統と仲間を守り、変化を恐れない
- 人に感謝し環境に思いやりを持つ

双子の兄弟で会社を牽引する(株)林塗装工業所。家族、特に兄弟での会社経営は難しいと思われがちですが、共に磨き合い、向上しあう二人の魅力で会社は順風満帆な未来航海へ。現存する兄の経営指針に、今回新たに弟(林俊治氏・彩北地区会)が指針を確立。稀に見るダブルスタンダードの融合物語に密着しました。(P6へ続く)

2021 - 4 April
VOL.516 毎月1日発行

特集

障全交がやってくる!

<http://www.saitama-doyou.jp>



障全交がやってくる!

●障害者問題全国交流会とは

中小企業家同友会全国協議会が主催する障害者問題に関する全国交流会。2年に一度開催され、2019年滋賀大会で20回を数えました。現在、46都道府県の同友会において障害者問題に関する委員会が設置されていますが、今大会では、全都道府県同友会の参加を目標として取り組んでいます。

実行委員長メッセージ



横山 由紀子氏

(有)福祉ネットワークさくら
代表取締役

いよいよ埼玉障全交が迫ってまいりました。みなさんは、どんな思いでこの障全交を迎えますか?「障害者雇用なんてうちには関係ない」そんな声をよく耳にします。普段障害のある方と関わる機会が少ない方には無理もないことかもしれません。

障害者雇用は、同友会の人を生かす経営推進協議会を構成する4委員会(経営労働・社員教育・共同求人・障害者問題委員会)の活動の中でも一番取り組みにくいと考えられているようです。

でも、コロナ禍で、物事の価値観も大きくリセットされた今こそ、多様性に重きを置いた新しい価値観を確立し、未来に向けて障害者雇用に取り組むチャンスだと思います。期せずして、このタイミングで行われることとなった埼玉障全交。

きっと大きな学びがあるはず。記念講演では埼玉ゆかりの偉人・渋沢栄一の経営と福祉について、ノートルダム清心女子大学杉山博昭教授にご講演いただきます。「埼玉ならでは」の障全交となるように、埼玉同友会一丸となって取り組んでいます!

ぜひ、埼玉障全交にご参加いただき、一緒に盛り上げていきましょう!

障全交実行委員会の メンバーに障全交に向けての お話を聞いてみました

リモート開催についての思いは?

今回の障全交を開催するにあたり、私たち実行委員会では協議を重ね、リモート(Zoom)のみでの運営を試みることにいたしました。

私たちは最初に「リアル会場で開催できないからリモートにするのか?」という点について話し合い、「リモートならではの使い方があるのでは?」という仮説を立てました。

従来の会場での開催には、様々なバリアがあります。身体が不自由な方、遠方の方、宿泊できない方、リアル会場では意見を言いにくい方もいらっしゃるかもしれません。

リモート会議システムは、このようなバリアを取り除くAAC(代替コミュニケーション)としての可能性があるのではないのでしょうか。

パソコンが苦手という方もいらっしゃると思います。私たちも不慣れでご迷惑をおかけすることがあるでしょう。でも、障害者雇用を通じて、多様性について学ぶ障全交です。どうかこの可能性を信じて、寛大なお気持ちで、私たちと一緒に新しい扉を開きましょう! (北部地区会 金子弘行 記)

なぜ障全交に参加しようと思ったのですか?

2016年障害者差別解消法が施行されました。この法律は「障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会を作る事を目指す」事を目的としています。しかし日本の現状は、人も企業も向き合い方が「無関心」「過剰」の二極化していると言われていました。なぜ「無関心(向き合えない)」なのか? それは「わからない・知らない・できない・経験がない」など「ない」から始まる不安から来ているそうです。

私は、幼稚園の時に好きだった男の子や、小中学校からの仲良しの友達が身体障害者だった事もあり、障害者に対する抵抗も特別な存在だとも感じた事はありません。そして必ず障害者雇用をしようと思っていたので、雇用をきっかけに委員会に入り学ぶ事にしました。無事に雇用できたのも束の間、1年の間に一緒に働く喜び、退職していく悲しさを経験し、受け入れる側の未熟さを思い知らされました。この経験が、自社の課題に真っ向から挑んで行くきっかけになりました。私は障害者雇用に再チャレンジします。その為には、まだまだ学びが必要です。その学びの大きなチャンスが、今回の障全交です。

皆さんも障全交に参加して、「ない」から始まる不安を吹き飛ばし、新たな一歩を踏み出してみませんか?

(川越地区会 齊藤由美子 記)

オープン学習会を開催

2021.1.28(木) zoom

歴史を紐解き、一丸となって障全交へ!

障害者雇用推進委員会 谷田委員長より委員会活動の取り組みを交えたあいさつから、中同協障害者問題委員長長の比嘉あみ子氏から障全交に向けて激励の言葉を頂きました。

沼田氏が中小企業家同友会としての「障害者問題」への取り組みを時系列で話を進め、ポイントは1982年国際連合で「障害者に関する世界行動計画」が総会で決議され、同じ年に中同協で「障害者問題」＝「障害者を取り巻く諸問題」についての委員会が発足した点です。このことは同友会が考える労使見解と障害者雇用とが密接に関わっていることを示しており、障害者問題は人間尊重経営の原点であるということを表しています。



沼田道孝氏

次に政氏から自社の障害者の採用に始まり、障害者問題に取り組む会員企業との交流から埼玉に障害者委員会の必要性を肌で感じ少しずつ仲間を増やしてきました。まさに、一歩進んでは半歩下がり、時には二、三步後退しながらも歩みだけは決して止めなかった政氏の姿勢と仲間との絆が今の障害者雇用推進委員会を作り上げたことを回想録的に報告して頂きました。



政裕美子氏

最後に赤塚氏により、障害者雇用推進委員会の取り組みと成果についてグラフや数字を用いて埼玉県内の障害者問題への意識の高まりと委員会会員数の増加が比例している点

が挙げられました。そして、「障害者雇用推進委員会には公的な支援機関のオブザーバーが多数在籍しているため、委員会に参加するだけで必要な情報や支援が受けられる仕組みが存在している。この流れの中で障全交開催ができることは障害者雇用の更なる盛り上がりにつながる」と締めくくりました。



赤塚正樹氏

最後に、実行委員長横山由紀子氏から自身が神奈川県で障全交をきっかけに障害者雇用を始めた想いから、同じように感じる企業を増やしたいと、障全交へかける熱い想いが画面上からもひしひしと伝わり、政氏から始まった埼玉での障害者問題への学びの歩みひとつひとつの積み重ねがあったからこそ障全交開催を実現できること、それは社会全体の流れとして必然の事として会の幕を閉じました。

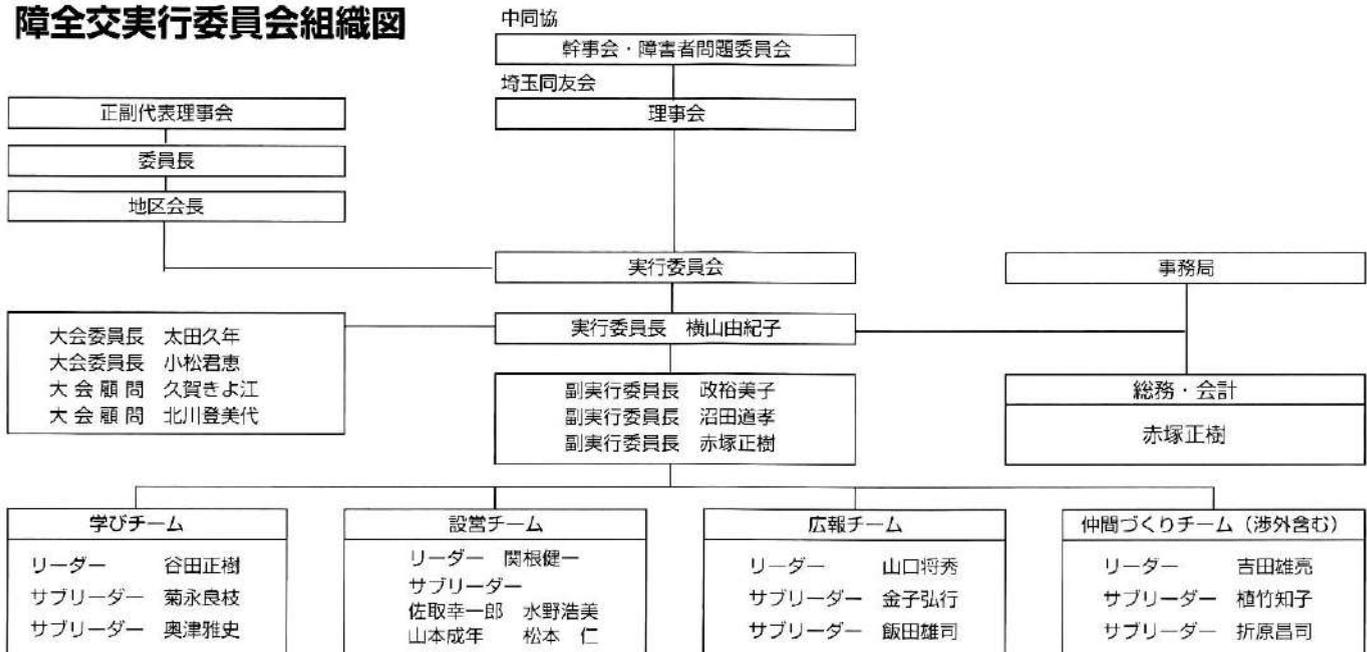
(むさし野地区会 山口将秀 記)

◎バーチャル背景を使おう!

広報チームでは、「障害者問題全国交流会from埼玉」を事前に盛り上げる為にバーチャル背景を企画中です! 素晴らしい障害者アートを是非知っていただきたく、川口市にある「工房集」の素敵なアーティストさんの絵を採用させていただきました。何種類かの中から選んで使用して頂けます。オンライン地区例会などの際に、是非このバーチャル背景を使用して、一緒に全国大会を盛り上げていただけたら嬉しいです。障全交までの数ヶ月、沢山の会員の皆様が使用して頂ける事を期待しております!

(広報チーム 川口地区会 福井千波 記)

障全交実行委員会組織図



※各チームのメンバーは調整中です。

経営指針づくりセミナー 経営指針発表会報告

2020年度

同友会では経営者の経営哲学ともいえる経営理念と経営方針、戦略、計画、それらを総称して「経営指針」と呼び、経営理念の成文化、その確率と実践を運動の重点として推進しています。今年度は新型コロナの影響で、初の全編リモート開催となりました。

委員長挨拶

経営労働委員長

満生 剛

菊ぐつとリフォーム 代表取締役 中部地区会



昨年の今頃(2020年2月頃)はコロナ禍が拡がりはじめ、今後の委員会活動をどうするかという前代未聞の課題や、初めて聞いたZoomの操作に四苦八苦していました。

4月になり同友会の指針セミナーをどうするかということで既に受講を申し込みの皆さんと意見交換を行いました。実はあの意見交換をやる前はセミナーを開催するか中止にするか、スタッフの中でも意見がまとまっていりませんでした。受講生の真剣な思いを受けて、スタッフの気持ちも一気に開催という同じ方向に進むことができました。

そのような経緯で全編をオンラインで開催することが決まったわけですが、委員会の皆さんのチームワークにより、カリキュラムを何も省略することなく、これまでと同じ内容のセミナーを開催することができました。

オンラインセミナーでの利点を活かして、受講生とスタッフのコミュニケーションがとても効率よく図れたと思います。決算書の読み方の解説などは何度も見直しができるようにYouTubeを活用しました。課題の提出や進捗の確認、お知らせなどは巷で話題のslackというアプリを活用するなど、私自身もITスキルを一気に上げることができたように思います。

セミナーを通じて気がかりだったのは、効率よくコミュニケーションができた一方で、心の交流が出来ただろうかという事でしたが、最後の感動的な指針発表会で皆さんの素晴らしい発表を聴かせていただき、そんな不安も払拭することができました。

皆さんと共に走ることができて、自分自身も前向きな思考を維持することができた一年だったと思います。スタッフの皆様、受講生の皆様、ご協力いただきました全ての皆様、ありがとうございました。

スタッフ振り返り

中川 怜子

(株)ディーアイケイ 代表取締役社長
さくら地区会



2018年、専務時代に私は経営指針セミナーを受講しました。

3年後に事業承継するという会長の指示の下、経営指針セミナーを受講、決算書の読み方すら解らず、経営者ですら無い私が経営指針セミナーを受講し、その翌年社長に就任しました。

経営人生をスタートしたその翌年にはコロナ禍…

正直絶望したが、そんな中で仲間にも声をかけられて経営指針セミナーのスタッフを務めることになりました。経営指針書をつくり運用してみた1年、そしてスタッフになった1年は全く別なものとなりました。

経営指針セミナーのスタッフになることで、大きく3つの学びを得ることができました。

1つ、他の経営者の経営指針に関わることで「自分だったらどうするか?」常に考え続けることができる。不思議なもので、自身の経営課題は中々見えないのに、他社の経営課題は見える。Zoomで受講生と接する日々ではあったが、相手のことを考えるうちに、自社はどうだろうと同時に比較することで自社の経営課題が見えやすくなりました。

2つ、受講生の頑張り、常に理念や経営指針に向き合う姿がとても輝いている。Zoom越しでも表情から声から頑張りが伝わるので、接していくうちに自身の経営指針も実行せねば!という気持ちが高められました。

3つ、スタッフは毎年経営指針書を更新している方たちである。経営指針書を作り続ける先輩から直に学ぶ機会が増えることで、自社の経営指針作成のプロセスを変化させることができます。本当に、沢山の受講生・スタッフから多くのことを学ぶことが出来た1年でした。みなさんありがとうございました。



修了生からの感想

加藤 久人

(株) ポン 代表取締役
むさし野地区会



経営指針セミナー受講のきっかけ

2007年、群馬中小企業家同友会沼田支部の澤浦氏から経営指針書の存在を教えていただいたことがキッカケです。以後10余年に渡って毎年、受講の日程調整をしていましたが、毎回数日調整が難しいまま未受講となっていました。それが2020年はすべての日程がドンピシャ合っていたので参加を決意しました。

受講して大変だったこと、よかったこと、得られたもの

自分がいかに中長期で会社のあるべき姿や、指し示す方向性を中長期スパンで考えず、目の前のことを場当たりにやっていたのかに気づかされました。毎講の先輩諸氏の皆様の報告を拝聴するだけでも有意義な時間となり「自分はどうか!？」と

自問自答することが多い時間でした。グループワークでさらに深掘りの話を伺い、自社の経営課題などに気づいたり、解決のヒントをたくさん頂きました。とくに10年ビジョンを策定してきたことは大きな成果で、これから全スタッフへ向けて発表をする予定です。なんとしても叶えたいという思いが強くなりました。

今後の展望

現在は、関東圏内に28店舗のエステティックサロンを直営店として多店舗展開しております。いわゆるBtoCビジネスが主体となっておりますが、今後は自社の経営資源(強み)を活かしBtoBを含む新規事業の柱を構築し、10年ビジョン実現に向けて精進します。また、1回の受講で身に付いたとも言えませんので継続的に経営指針セミナーを学びたいと思っております。

8ヶ月間に渡りご指導賜りました先輩諸氏の皆様に心より感謝申し上げます。

山崎 浩一

(株) 山水花園 代表取締役
川越地区会



初めて川越地区の例会にゲスト参加した時に、経営指針づくりセミナーのことを知りました。先輩経営者がしきりに指針づくりセミナーに誘ってくれました。当時はまだ、同友会に入会するかどうか分からない自分でしたが、熱心に誘ってもらうちに、自分にとって必要なものだ、何と無く感じていました。

「スタッフも受講生も手弁当で作らなければいけない経営指針は同友会しかないよ!」という言葉にも押され、そして、同友会に入会する事=指針づくりセミナーを受講することと決めて同友会に入会致しました。いざ受講してみると、思っていたものと全く違っていました。

受講案内には、「スタッフに教わるものではありません」と書かれていましたが、いざ受講してみると確かに教わるものではありませんでした。

「何のために経営しているの? 何のために? 誰のために? どうして?」

そんな事、考えたことはありませんでした。

初めて本気で考え、自分に向き合い、真剣に会社の事や社員さんのことを考えました。考えて、考えて、考え抜くことが、

こんなにも辛く、大変な事だとは思ってもありませんでした。

「自分の内なる気持ちを書き溜めて、それがいっぱいになった時に経営理念の言葉が降ってくる」と、誰かが言っていたのですが、全然降ってきませんでした(笑)。

考えることの大切さ、自分の中の本当の気持ち、そして社員さんたちとの関係性、大きく言えば地域や社会との繋がり、今までの自分には全く別世界のものでした。

指針づくりセミナーではいくつもの項目があり、課題も多く、時間の調整が難しかったです。ですが、その時間の使い方や大切さも、学びであり、課題一つ一つが自分にとっては、新しい自分との出会いでした。

自分とは何者なのか? 何のために生きているのか? そこまで考えたときに、自分にとっての経営理念が決まりました。

指針づくりセミナーを通してわかった事は、経営指針をつけることは色々な面で大変です、それは否定しません。しかし、それ以上に学び、気付きがあります。

その学びや気付きが、今後の経営に大きく関わり、会社の成長、自分の成長につながっていくのだと思うと、得られる物は多いと思います。

最後になりますが、人それぞれに、置かれた立場や状況は違うと思いますが、それぞれの人のタイミングで経営指針が必要になる時がくると思います。

そんな時は、どうぞ怖がらずに指針づくりセミナーを受講してください、必ずあなたの為になる事を僕は約束します。P.S 結構楽しいですよ(笑)

2020年度経営指針セミナー修了生 (順不同・敬称略)

加藤 久人	(株)ポン	代表取締役	むさし野	山崎 浩一	(株)山水花園	代表取締役	川越
小林 謙二郎	(株)小林企画	代表取締役	川越	鈴木 達朗	バルグラッド(株)	取締役	大宮中央
工藤 陽介	(株)リアル	代表取締役	川越	富永 敬史	(株)FP Residential	代表取締役	東部
下村 信子	下村信子社会保険労務士事務所	所長	川越	山下 太一	(株)グレイト	取締役	戸田・巖
増田 吉彦	(株)インスピリッツ	代表取締役	大宮東	佐藤 亜希子	(株)Swing Kids	部長	浦和
鳥海 晃平	エンクル(株)	代表取締役社長	東彩	林 俊治	(株)林塗装工業所	取締役製造部長	彩北
三友 宏樹	八千代紡織(株)	代表取締役	中部	山室 奈美	行政書士 山室事務所	代表	川口

埼玉の元気を創る 中小企業家

(株)林塗装工業所(彩北地区会)

埼玉県北葛飾郡松伏町ゆめみ野東4-2-1

TEL:048-991-5774

URL:http://www.hayashi-coating.co.jp/



昭和40年設立の(株)林塗装工業所は、工業用部品の塗装全般を手掛け、現在社員数25名、今期56期目を迎えます。自動車部品、医療機器、建築関連部品、家電外装品など、あらゆる素材、種目を受注し、仕上がりはもちろん、耐久性にもこだわり、安定した生産体制で大手メーカーのニーズにも期待に応えてきました。

社長である父、双子の兄(林栄治氏・東彩地区会)と家族経営の難しさを感じさせない、より良い会社づくりに一本化された方針に導かれ、社員とともに切磋琢磨してきました。

■売上がすべて! 経営ってそうゆう事でしょ!

2006年から若くして経営部門に携わることとなった俊治氏。持ち前の若さと勢いで突っ走ります。売り上げは順調に伸び、順風満帆に見えました。しかし、ふと後ろを振り返ると社員は辞めていき、誰もついて来ていないことに愕然とします。なぜ?自分は間違っていたのか? 会社は順調なのに。。。その頃から、自分自身を見つめ直し、ブレない信念を持ちたいと思い、経営指針セミナーを受講することを意識するようになります。

先んじて2015年には、兄の栄治氏が経営指針セミナーを受講し、独自の理念を確立していました。会社もその指針に沿って順調に良化していきます。俊治氏もそれは肌で感じ、兄へのリスペクト、うらやましさを感じつつ、今度は自分でも! という強い気持ちで満ちていきました。

■経営指針ビフォー／アフター

経営指針セミナーを受ける前は、受講に迷いがなかったことも



取材風景

あり、やる気120%状態。持ち前の勢いで「やってやるぜ!」と鼻息荒く乗り込みます。売上至上主義だった頃から、会社を数字で分析してきた経験が生き、数字の部分は楽だったといいます。しかし、一つの質問にピタッと立ち止まることに。その質問とは「辞めていった社員のことをどう思っているのか?」というものでした。即答できず、まして考えたこともなく、答えを導くには難しい問題だったとのことでした。

しかし受講が進むにつれ、会社と向き合い、自分自身の中を掘り起こし、今まで頭になかったような言葉もどんどん備わってきた、そのような感覚になっていったと俊治氏は話してくれました。

■ほんやりからクッキリと。浮かび上がってくる俊治指針

今回の指針セミナーを通して、まず二つの経営姿勢が確立します。それは、

- 1、社員と真剣に向き合うこと。
- 2、内部、外部環境をあらゆる角度から分析し、計画を立てて実行すること。

セミナーを経て、俊治氏は社員の声に耳を傾けることの必要性、正面を向いて共に歩むことの大切さに行き着きます。退職するその日まで、正しい労使関係を築き、林塗装で働けて良かったと思える会社にしていきたい! と心に誓うのでした。



双子の兄 栄治氏(左)と

■同友会史上初?! 経営指針ダブルスタンダード

俊治氏は、塗装(色)は人を引き付ける(魅了する)効果があると考え、人は最後の最後、商品を購入する決め手となるファクターは「色」である、と言い切ります。塗装の技術に自信と誇りを持って、世界の人々を色で魅了していきたい、そんな想いが詰まった経営理念となりました。

来るべくして進化した林塗装の経営理念。兄の理念は「感謝」。弟の理念は「未来」。

ここから融合していき、かつてない最強理念を目指していきます。

「経営指針セミナーをやりきり、迷ったとき戻れる場所を得た、ブレない強さを得ることができた」と語る俊治氏の顔は、どこか頼もしく、輝いて見えました。

「色で魅了する」

図らずも東彩地区の兄と彩北地区の弟、彩(いろどり)豊かな林塗装の未来が見えた、清々しくも、貴重な学びを得た取材となりました。さらに、コロナ禍の今だからこそ、前向きさと勢いが大切!お土産に勇気も分けていただきました。林塗装の皆さん、ご協力ありがとうございました。(江田雅之 記)



「仕事も趣味も全力で楽しむ派！」

大井川和男 (大宮中央地区会)
 (有)タイヤサービス大井川
 埼玉県さいたま市北区別所町 80-9
 TEL:048-666-8181



私はさいたま市北区別所町でタイヤ・自動車用品の販売や修理業を営んでいます。四季を通して車両を安全快適に利用できるようにお手伝いをしています。昨今、車離れが増えています。生活や仕事には欠かすことのできないツールなので、繁忙期ともなると昼夜を問わず利用頂いています。

激務とも言える仕事に打ち込めるのは、ONとOFFを切り替えて日常を楽しんでいるからです。ONの時は経営者として集中しますが、OFFの時は余暇を楽しみます。多種多様な経験はあるけれど、子供の頃から自然に囲まれて育ったせいか、野山等の野外での活動が好きで特に仲間と楽しむゴルフ・スキー・釣り・狩猟等が好きです。しかし残念な事に、最近はコロナ禍と年齢的な体力の壁もあり仲間と楽しむことは自粛中です。そこで今では単独でも楽しめる釣りや狩猟を楽しんでいます。「釣り」というよりは「魚捕り」、いわゆる「漁」をしています。自宅周辺のエリアの漁業権を取得しているので投網や網を仕掛けて魚を捕えてますが、投網は結構体力があるので魚の習性を読んで捕える置き網漁をしています。

これと同じで「狩」も好きで、こちらは山に入ります。山に入ると言っても体力的な事から、山間部を歩き回り獲物を追い詰める手法ではなく、ポイントで狙い仕留める



事が多いです。時々山に入るときは強力な相棒と同行します。それはセッター犬のララです。ハンティングのサポートだけではなく、趣味を楽しんで

はいるが、さすがに一人っきりだと寂しいので、話し相手にもなってくれる存在です。彼が引退したら私も引退かな。銃は定期的に研修や申請等でほぼ毎年手続きをしていけば所持はできるが猟犬は生き物なので老いもするしケガや病気にもなるので大切なパートナーは道具のように新しく買い替えて使うという発想はありえないので。

なぜ今でもハンティングを続けているのかと考えると、「魚捕り」も「狩猟」も仕留めた獲物を喜んで食べてくれる仲間と楽しい時間を過ごせるからかもしれません。趣味の話や仕事の話等しながら一杯飲んで料理を堪能するのは実に楽しい時間だからです。同友会でも1月に地区会の仲間とジビエ料理を食べて新年会をするのですが、皆が笑顔で新年の抱負を話し合うのは嬉しいし、毎年狩猟の成果を期待されているのはプレッシャーにはなる反面、励みにもなり、この趣味の楽しいところでもあります。

考えてみると仕事も趣味もやってみて次はこうすれば、もっと上手にできるじゃないかな? もっと楽しくできるんじゃないかな? と取り組むことが楽しいから頑張れるのだと思います。今後も「仕事」も「趣味」も「全集中の呼吸」で無理せず年相応に頑張ります。



ハンティングに同行する相棒ララと共に

各地区会で開催された 例会をご紹介します。

【大宮中央地区会1月例会】

会員実践報告

～新しい仲間のお話を聞こう～

報告者:鈴木達朗氏 (ハルグラッド㈱ 取締役)

2021年の新年最初の例会はコロナ感染拡大対策の為に恒例の「シビエ料理で新年会」の懇親例会を自粛してオンラインでの開催に切り替えて「会員実践」のテーマで鈴木氏の報告でした。

昨年入会された鈴木氏は事業継承者として大きな期待を背負っておられる事もあり、入会して間もないのですが、今年度の経営指針セミナーを受講されました。

自社の現状と自身の役割、本業はコロナ禍での影響や対応で多忙を極める状態ですが、経営指針の成文化に取り組まれる中で心境の変化や経営者としてのあるべき姿への気づきを得たそうです。自社の今後の展望について膨らむ思いや可能性に込めた事業計画の報告は現在のコロナ感染拡大の想定外の暗雲立ち込める状況下においても挑戦して取り組む内容でした。

当日は、オンライン開催ということで久しぶりに参加できたという方とも意見交換ができて「やれることはまだまだある!自分も頑張ろう!!」という気持ちになる事が出来た例会でした。(鈴木光義 記)

【西部地区会1月例会】

『ブラック企業から県のモデル企業へ』

～社長が変わったら社員も労働環境も劇的に変わった!～

報告者:山本成年氏 (山本工機㈱ 代表取締役)



緊急事態宣言が発令される中での開催となりどうなることやらと思っていましたが、ネット開催にも慣れ通常と変わらない例会ができました。

今回は東彩地区会員でもあり、県より働き方改革のモデル企業10社に選ばれた山本工機㈱の山本社長に実践報告をして頂きました。報告は、山本工機の成り立ちと現在の会社概要から始まりました。

普通の鋳物工場から脱却し制作から品質保証まで一貫して行える、社員50人以下では唯一の会社とまで言われるまでになり現在その中でも、残業月1時間以内、有休取得100%を達成していると平然と言える山本社長に圧倒されながら、また興味をもって聞き入りました。

山本社長は祖父から続いた会社を親からの「このままだとつぶれてしまう」との言葉に呼応して順風満帆だったサラ

リーマンを捨て入社。就業時間内なのにタイムカード前に終わるのを待つやる気のない社員をみて、軍隊式にビシビシするしかない一人奮闘。一年通して休みなく働き、ついてこれない社員はいらないと言い吐き仕事をする毎日。その中で業績も少しづつ上向いていたが人が続かない。これではだめだと社員をねじ伏せてベトナム実習生を入社させた。実習生はよく働きかつ楽しんでいる姿に職場の雰囲気も明るく激変。

これによりもっと会社を変えたいと3S活動の導入をきめた。それも数社合同での研修に参加。

その内容は各々の会社を訪問して進捗状況を発表しあう形式で定期的におこなう。他社の人に説明して指摘を受ける形式なので、みるみるうちに成果が出る。実例として2トントラック5台分のいらぬものを整理することができた。またそのことにより、合同で研修した会社とのレクレーション交流も定期的におこなうこととしている。

どんどん会社が良い方向へ変わっていくのを実感したそうです。現状、コロナの影響もあり仕事が激減しているとのことですが来期の予測をしっかりとており何事もないように淡々と話されることに、自信をもって仕事をしているのだなとひしひしと感じました。

その後グループ討論を行い、社員さんが給与だけでなく仕事の目的ややりがいをもって自主的に動ける環境をどうしたら作れるかを、各々自社の現状を話しながら討論するという同友会ならではの本音の会話を交わして、自社に取り込んでいこうと意欲的な討論となりました。

今回は会員各自別の場所で行うネット例会でも、おおきな気づきを得られることがわかる例会になりました。(吉岡和広 記)

【東部地区会2月例会】

え?これも地域活動!?

地域に根差す中小企業として 地域との関りを再確認しよう

～初級編～

去る2月17日に行われた地域づくり委員会の例会報告です。『え?これも地域活動!?地域に根差す中小企業として地域との関りを再確認しよう～初級編～』という少々長いタイトルにて開催されました。

右を向いても左を向いても景気のいい話が聞こえてこない中、あえて地域にこだわって、地域に根付いて事業展開をされている6名の方々にお話を伺いました。社労士の方に顧問先中小企業の現実を。ポスティング業の方に自社の課題と地域貢献に結び付ける事業展開を。2名の飲食の方に苦しいのは当たり前。でも地域に必要とされることを意識して変わった思いと、ついてきている大繁盛という結果について。そして多角経営を取り入れた柔軟な対応について。元々地域に根差す葬儀屋さんの苦境からの大逆転劇。そして訪問介護・デイサービスという、これぞ地域活動という事業をされているがゆえにコロナ禍に巻き込まれた方の現実と未来。と、色々な角度からの報告をいただきました。



続いて『自社と地域のかかわりは何ですか?』というタイトルでグループ討論を行いました。サービス業の多い東部エリアならではの、もとより地域との関わりが多いもののコロナ禍で様相が変わった。が、足元をしっかりと見詰め地域としっかり関わり、新しい展開を模索されている方が多かったのが印象的でした。中には地域にこだわらず、グローバルにという声もちらほら聞こえてくる昨今ですが、中小企業の強みを活かすという意味でも、同友会の本懐である、地域に必要とされる中小企業を目指すという観点からも、地域を知り地域と関わってそして共に存続していく事を伝えるために行っている地域づくり委員会の目的に応じた例会になったのではないかと感じております。

総じて、コロナ禍だからこそできることは地域資源の中に無限にある、という可能性を感じることができました。ご報告頂いた皆様ありがとうございました。そしてお忙しい中ご参加いただいた皆様お疲れさまでした。(出雲 武 記)

【川越地区会2月例会】

**コロナリスクをチャンスと捉え、
10年先、20年先、30年先の
あなたの会社の姿は**

報告者: 工藤 陽介氏 (㈱リアル 代表取締役)
小林 謙二郎氏 (有小林企画 代表取締役)
山崎 浩一氏 (㈱山水花園 代表取締役)
コーディネーター: 下村 信子氏
(下村信子社会保険労務士事務所 代表)



工藤 陽介氏

小林 謙二郎氏

山崎 浩一氏

川越地区会の令和3年2月例会が2月16日18時30分より、Zoomによるリモートにて開催されました。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出中の状況で、完全なリモート開催となりましたが、40名近くの会員・ゲストが参加されました。

報告者は、川越地区会員の有小林企画の小林謙二郎氏、

(株)リアル of 工藤陽介氏、(株)山水花園 of 山崎浩一氏の3名とコーディネーターに下村信子社会保険労務士事務所 of 下村信子氏でした。

報告者の3名は今年度の経営指針づくりセミナーに参加しており、そこでの学びについて語っていただきました。

新型コロナウイルスの影響で、セミナーもリモート開催になっており、受講者もスタッフもなかなか進めていくのが不慣れな状況だったようです。その中で報告者の3名は、スタッフや他の受講者と切磋琢磨しながら、自分と向き合い、会社と向き合い、経営指針成分化を成し遂げました。

3名それぞれの個性が表れた素晴らしい経営指針の発表に、例会の参加者も興味深く聴いていました。報告を受けたグループ討論でも活発な意見が交わされました。

報告者の発表に刺激を受け、出席した会員・ゲストも、自分の会社の10年先、20年先、30年先の姿を頭に浮かべながら、白熱した討論となりました。

経営指針づくりセミナーに以前参加した方からの話で、「経営指針は迷ったとき、困ったときの道標になり、セミナーに参加することは自分の経営を見つめ直すきっかけになる」という意見が印象的でした。

例会に参加した会員の中で来期の経営指針づくりセミナーの受講を決意した方が複数人いました。今回の3名の報告者の言葉が胸に響いたのではないのでしょうか。

(山口和宏 記)

【彩北地区会1月例会】

**逆境だからこそ つなぐ力を大切に
～旅行添乗員23年の経験と想いで立ち上げた新規事業～**

報告者: 田部井広明氏 (米米トラベル 代表)



令和3年度最初の例会報告者は現在のコロナウイルスの脅威を最も強く受けているといっても過言ではない旅行業で、新たな道を見出した米米トラベル 田部井氏。『逆境だからこそ つなぐ力を大切に』という言葉通り、この

先行きの見えないコロナウイルス下で何が大事かを改めて痛感させられる、どの業界にも通ずる素晴らしい報告でした。

2007年に起業してから『皆様の笑顔の為に』をモットーに駆け抜けてきた田部井氏。添乗員歴23年、山あり谷ありの中で常に人を思い、前向きな行動力と人望があるからこそ、今の状況で『つなぐ力』に繋がってくるのだという事も教わりました。

グループ討論では『既存事業以外に何ができるか?』という考えさせられるテーマのもとで、『普段とは違う思考で物事を考える』という事がいかに難しいのかを痛感する、とても内容の濃い討論になり、新年度初の例会は、改めてこの状況下をどの様に乗り越えていくか、『つなぐ力』『視点を変えた見方』など、改めて何を大事にするべきか考えさせられる良い例会となりました。(岡 雅英 記)

埼玉中小企業家同友会 2020年度第4回Web理事会議事録

〈2020年度スローガン〉「中小企業の活力で、埼玉の未来を切り開こう」

～地域に貢献する強靱な経営体質の企業づくりを～

◆日時: 2021年2月18日(木) 18:30 ~ 20:30

◆議事録署名者: 折原副代表理事

◆会場: Web会議

◆議事録作成者: 清水事務局長

◆司会・議長: 折原副代表理事

・小松代表理事挨拶

日々コロナ禍の中、会社経営にまい進していることと思います。同友会は会員の方はズームにもいち早く慣れ、活動を止めていないことは内外ともに評価されています。また、本日参加の一部の方の壁紙の通り、いよいよ障全交from埼玉が本格的に始動します。皆の力で成功させましょう。話は変わりました2点報告します。去る2月11日に埼玉県に対し経済6団体の一員として緊急要望(県商議所提案)を共同提出いたしました。県内で埼玉同友会が認識されてきています。もう1点は新井政策委員長が参加している中同協の対外委員会についてです。そこでは今後、金融機関との連携の強化を図ることとなりました。主な内容としては①コロナ禍に特化した専用当座貸越の開設②経営者保証の撤廃③資本性劣後ローン策定等を今後検討していくこととなっています。

1. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

協議事項

第48回定時総会について(報告者: 太田・小松代表理事、植竹・米山・小林副代表理事、田ノ上、清水)

第48回定時総会を2021年4月17日(土)にWEB会議(ZOOM)で埼玉地区会の設営で第一部は総会、第二部は記念講演の2部構成で開催する。記念講演は大野埼玉県知事又は愛知同友会会長の加藤氏。打ち合わせは3月に実施。続いて2020年度活動総括・2021年度活動方針案、2021年度組織図、2021年度役員候補案、2021年度予算案の検討、2021年度活動スケジュールについて質疑・討議した。

・総会設営概要の内、日程・開催方法・記念講演を協議

①日程: 4月17日(土)14時開始

②開催方法: オンライン開催(手順、スケジュール等は調整)

③記念講演: 大野知事に要請中も予定ができない場合は加藤愛知会長に報告を依頼する。

・2020年度活動総括・2021年度活動方針案については内容を検討、理解するため、グループ討論を各副代表理事がグループ長になり実施した。グループ発表では委員会予算についての意見が多かった。

報告事項

1. 中同協 オンライン会議有用性・可能性及び運用のガイドラインについて(報告者: 折原副代表理事)

1月に実施の中同協幹事会においてオンライン会議の運用のガイドラインの案が提出された。次回3月の幹事会で協議する予定。有用性、可能性を考慮しつつ運用についてはガイドラインが示される。埼玉でもこれを準拠の上、決めていく予定だが理事の方も確認してほしい。

2. 政策委員会 景況調査(2021年1月~3月期)中間報告

(報告者: 新井政策委員長)

2021年1~3月の景況調査を実施している、今回の特徴は回答期限を延ばしたことと特別質問を3項目加えたことの2点。現在進捗状況では95筆と低調。今後理事の皆さん他会員の方に是非、回答していただきたい。今回も300筆が目標で3月15日が締め切り。

3. 第21回障害者問題全国交流会from埼玉について

(報告者: 横山実行委員長)

障全交メインテーマ、スローガンは以前提示したものと同じだがスローガンへの思いを一部変更した。

ぜひ確認していただき、埼玉同友会会員が障全交について説明する場合は皆同じ思いで伝えていくようにしていただきたい。スケジュールについては2021年10月21日(木)~22日(金)の二日間の開催に変更はなし。全体会での記念講演はノートルダム清心女子大学 教授 杉山博昭氏に決定し、要請、快諾をえた。「洪沢栄一に学ぶ福祉の未来」の著者。今年の大河ドラマの主人公、また、一万円札の顔となる埼玉出身の洪沢栄一氏が福祉の先駆者であったことは語られていないので日本資本主義の父である裏の顔を経済への貢献と結び付けて、お話を伺う。

4. 新理事候補者研修会兼埼玉同友会長期ビジョン検討会企画

(報告者: 高橋正副代表理事)

2021年度理事候補者研修会を長期ビジョン検討会のキックオフをかねて2021年3月19日(金)に開催するのでぜひ参加していただきたい。参加者対象は次年度理事になる方全員、長期ビジョン検討委員及び今回は地区の幹事にも参加を促している。報告者は中同協(元専務幹事)専任講師 松井清充氏と埼玉同友会元専務理事 山田一郎氏。松井氏には長期ビジョンについて、山田氏には埼玉同友会のこれまで歩みについて報告していただく。

5. 委員会・地区会報告

・政策委員会より

県下16地区会すべての地区会で2021年度政策委員を選出していただきたい。特に2021年度は地域づくりに大きく焦点をあて活動していく。各地区最低1名の参加をお願いしたい。

・共同求人委員会より

去る1月27日に埼玉県要請で高校生向けのリアル合同企業説明会(5社)を実施した。この実績により2021年度埼玉県、埼玉県教育委員会後援で高校生向けの同友会と共同で合同企業説明会を開催する。同友会の活動の中でも全国的に稀な事例なのでぜひ興味のある方はご連絡ください。

・広報委員会より

①3月末にリニューアル予定のホームページは各地区会、委員会から投稿があるとトップページに掲載できるようになる。そこでそれぞれの地区会、委員会ともに担当者を決めていただきたい。

②埼玉同友会の新ホームページでは内外に向けて行事の案内、準備状況等をホームページ上で知らせることができるようになる。

③ホームページを見たうえで入会に興味がある方のための簡略ページを開設する、これにより入会を促進できる。

・川越地区会より

3月16日に中同協広浜会長林ヒロハマ代表取締役会長を報告者に例会を開催する。オンラインなのでぜひ参加していただきたい。

新たな辞書の1ページ **新入会員紹介** (2/1~)



三浦和博
株和合
川越地区会

防災関連開発及び顧問業
(防災関連の利権事業世界
No.1ロボット社テムザック
顧問)



〈会員変更〉
上野勝久
株和合
西部地区会

住宅の外装工事及び住宅用
太陽光発電システムの販
売・工事店



又吉達也
マストミ電子(株)
川口地区会

ワイヤー・メカニクス、圧縮加工、ニッケル
メッキ加工、UVコーティング、電線コード加
工、銅線ケーブル加工、電線、電子部品検査
及びアセンブリ加工、温度センサー販売



鳴嶋廣美
N.ベース
むさし野地区会

食生活、生活習慣の促進
サポート※特に女性特有
の健康課題の改善をサ
ポート

● **同友会日誌** 2月1日~28日

- 1日(月) 東彩幹事会、さくら幹事会、彩北幹事会
- 2日(火) 川口幹事会、大宮東幹事会、川越幹事会
大宮南幹事会
- 3日(水) 役員選考委員会、埼玉葛幹事会、中部幹事会
むさし野幹事会、浦和幹事会
- 4日(木) 東部幹事会、戸田・蕨幹事会、北部幹事会
- 5日(金) 正副代表理事会議
- 8日(月) 「人を生かす経営」学習会【第8回】
ファミ幹事会・ミニ報告会
- 9日(火) 経営指針づくりセミナー【第15講】計画編③
共同求人委員会、第4回議案書検討プロジェクト
障害者雇用推進委員会、西部幹事会
- 10日(水) 地区会長会議、広報委員会
- 12日(金) 仕事づくり委員会、大宮中央幹事会、経営労働委員会
- 15日(月) 北部例会、さくら例会、彩北例会、東彩例会
- 16日(火) 川越例会、西部例会、川口例会
- 17日(水) むさし野臨時総会・例会、大宮ブロック会議
戸田・蕨例会、埼玉葛例会、東部例会、浦和例会
- 18日(木) 正副代表理事会議、理事会
- 19日(金) 中部例会
- 20日(土) 経営指針づくりセミナー【第16講】発表会
- 22日(月) 政策委員会、社員教育委員会、むさし野正副連絡会
- 24日(水) 社員教育委員会、新入会員オリエンテーション
青年部幹事会・例会
- 25日(木) 共同求人委員会、大宮3地区合同例会
- 26日(金) 川越地区会×よろず支援拠点セミナー
全研実行委員会

● **会員information**

《住所・TEL・FAX・社名・役職変更》

東部地区会 Flower&total life coordination FEU CLAIR
榎本 恵会員
MEEE(株) 代表取締役社長へ
〒342-0041 埼玉県吉川市保1-20-9
TEL:048-915-2035 FAX:048-915-2035

《住所・TEL・FAX変更》

東部地区会 日本住材(株) 吉田 賢会員
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷5-3-9
TEL:048-967-5311 FAX:048-967-5313

《住所変更》

大宮東地区会 (有)エイチアイディー 長谷川秀明会員
〒362-0035 埼玉県上尾市仲町2-12-25

《社名変更》

東部地区会 春日部在宅診療所 ウエルネス 笹岡大史会員
(医)忠恕春日部在宅診療所 ウエルネスへ

《役職変更》

川越地区会 (株)ゾルキンホーキー 内田 茂会員
相談役へ
大宮南地区会 (株)セゾンハウス 山市祐太会員
代表取締役へ

◆ **訃報** 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

東彩地区会 石井和也会員のご尊父様のご逝去されました。

会員数

2021年3月8日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	56	大 宮 南	81	北 部	30
戸 田・蕨	50	西 部	41	さ くら	87
浦 和	81	むさし野	109	川 越	89
大 宮 東	40	東 部	128	東 彩	55
大宮中央	32	中 部	49	彩 北	15
		埼 葛	48	計	991

編集後記

子供の頃から、「お前は音痴だ!」と言われ続けた私は、歌うことが「トラウマ」になっていました。カラオケに誘われても断り、唯一歌えるのは童謡だけでした。そんな私が今はカラオケ大好き!友人を誘うほどになりました。(コロナ禍の今は自粛しています)転機は5年ほど前。同友会の友人から、個人レッスンの先生を紹介されました。この先生が素晴らしい「褒め上手」。全く自信のない私に「上手いね!」を連発。長い間のコンプレックスから解放され、人生の楽しみが一つ増えました。「褒める」ことの偉大な力!

みなさん、部下を褒めてますか?家族を褒めてますか?自分を褒めてますか?
(東部地区会 宇野碧留記)

